

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370200418
事業所名	グループホーム ちから館とくがわ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホーム便りを自治会長に渡して、地域の回覧板と一緒に回覧してもらっている。1Fの会議室を地域に開放し、老人クラブや自治会などが毎月使用している。近くの高校の学生ボランティアが毎月来訪し、歌を歌ったり、カレンダーを作ったり、折り紙を折ったりして利用者と楽しんでいる。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月毎に行われ、主な出席者は自治会長、民生委員、学区長、いきいき支援センター職員、家族などである。最近の主な議題は、災害についてが多く、出席者より災害が起こった場合、近所のお年寄りを当ホームで受け入れてもらえるかなどの提案もあった。また、毎回テーマを決めて（高齢者の病気、感染症、熱中症など）勉強会を行い、出席者より参考になると喜ばれている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 定期的に訪れ、ホーム便りを持参している。その際には、法改正のことなどでわからないことを担当者に関して情報をもらっている。東区役所主催の作品展に利用者の書道、貼り絵、工作などの作品を出品している。また、市町村主催の研修会（口腔ケア、介護記録の書き方など）には積極的に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会は年1回行われ、全家族が出席している。お抹茶を利用者が点て、家族に飲んでもらったり、食事やレクリエーションで家族と一緒に楽しい時を過ごしている。病院への付き添いや理美容院への外出や毎日の入浴などの要望があり、それらに対して速やかな対応をして家族より安心を得ている。行事の様子を写真で載せた「ちから館だより」を毎月発行している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				